

ジブチ月例報告 (2026年8月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

● 8月18日、ゲレ大統領は、第8回閣議を開催し、閣議冒頭において7月17日に逝去したブルハン国防大臣に対し哀悼の意を表した。また各省庁の2025年度予算の最終決算法案等に関する審議が行われた。

【外政】

● 7月31日～8月1日、サフィア (Mme. Safia Elmi Djibril) 国民議会第一副議長は、南アフリカのヨハネスブルグで開催された汎アフリカ議会議長会議において、アフリカの経済統合を真の社会的進歩と持続可能な開発の手段とする必要性を強調した。

● 8月2日、ゲレ大統領は、ベルニーニ (Mme. Anna Maria Bernini) 伊大学・研究大臣率いるハイレベル代表団の訪問を受け、高等教育、科学研究分野における連携強化を中心に会談を行った。また両者は、エネルギー、農業分野における連携強化、地域の安定、航行の自由の維持及び海洋安全保障の強化に向けた国際協力へのコミットメントについても改めて確認した。

● 8月12日、ジブチ政府は、シリア領ゴラン高原に対するイスラエルの主権を承認するコロンビア政府の決定を国際法及び国連決議に反するものとして強く非難するコミュニケを発出した。

● 8月22日、オマール外務・国際協力大臣は、バドル・アブデルアーティー・エジプト外務大臣と電話会談を行い、二国間関係及び紅海情勢を含む地域の問題について協議を行った。

● 8月29日～30日、アブドゥルカデル首相は、アンゴラのルアンダで開催されたアフリカ連合 (AU) 第21回特別首脳会合に参加し、アフリカ大陸を揺るがす危機への対応策として、予防、対話及び外交の重要性を強調し、アフリカが「一つの声で」平和と安定を守れるよう、独自の危機対応能力を構築することを呼びかけた。オマール外務・国際協力大臣は、アフリカ連合 (AU) 執行理事会第26回特別会合に参加した。

【経済・開発】

● 8月2日、ハディ (M. Aboubaker Omar Hadi) 港湾・フリーゾーン庁 (DPFZA) 長官は、バブ・エル・マンデブ海峡における情勢悪化を受け、同海峡を通過する船舶に新たなコストが発生していると指摘した。このコスト増が輸送業者の負担

となり、最終的に海上輸送価格へと転嫁されているという。コンテナ1個あたりの平均輸送コストは約3,000米ドルから約10,000米ドルに急騰した由。

●8月2日、アルミス(M. Almis Abdillahi Mohamed)大統領府付政府事務次官は、ロッカサルヴォ(Mme. Alessandra Roccasalvo)当地UNDP常駐代表との間で、政府総局アーカイブ電子化プロジェクトの実施に関する協定書の文書に仮署名を行った。

●8月5日、ヨニス労働大臣(制度・社会保障担当)は、バラホナ(M. José Barahona)当地国連常駐調整官の訪問を受け、人的資本、ディーセント・ワーク及び行政改革をジブチの経済及び社会変革の中心に据えるという共通の決意を確認した。

●8月17日、ラドワン農業・水・漁業・畜産・水産資源大臣は、オマール・フセイン地方分権担当大臣を伴い、ジブチ学術研究センター(CERD)内に設置された体外培養研究所を視察した。

●8月19日～21日、ジャマ・エネルギー大臣(天然資源担当)は、ガーナのアクラで開催された米国・アフリカ原子力エネルギー・サミットに参加し、将来のアフリカにおける原子力の民生利用に関する議論を行った。

●8月20日、ヨニス労働大臣(制度・社会保障担当)は、オマール外務・国際協力大臣兼商業・観光大臣代行、サイード・インフラ・設備大臣、ユスフ商工会議所会頭を伴い、港湾関連職種に特化したリソース・スキル・センター(CRC)を訪問し、同センターのインフラ、設備及び研修体制を視察した。

●8月24日、中国招商局集団の慈善財団は、港湾・フリーゾーン庁(DPFZA)、UNDP及びリーダーシップ・起業家精神センターと共催し、アフリカ人起業家対象のスタートアップ研修(G-STAR:China Merchants' Startups Training for African Regions)をジブチにて開催した。アフリカ大陸から選抜されたジブチを含む19か国の若手起業家32名が参加した。

【保健・衛生・社会】

●8月9日、ファトゥマ・スポーツ担当長官は、バルバラ地区で開催中のサッカー大会を視察した。

●8月13日、ラドワン農業・水・漁業・畜産・水産資源大臣は、アルタ地域のPK30に位置する「ジブチ・トルコ友好ダム」を視察した。気象予報は、同地域において、季節的な降水量が平年を上回ると予測している。

●8月14日、ジブチ代表のフセイン(M. Houssein Sougueh Aden)氏は、コンゴ共和国のブラザビルで開催されたハーフマラソン大会において大会新記録で優勝した。

●8月16日、ヨニス労働大臣(制度・社会保障担当)は、コワサック(M. Alexandre Coissac)当地IOM常駐代表の着任表敬を受けた。会談では、雇用、労働移動及び

労働者保護に関する協力強化について議論が行われた。特に、海外におけるジブチの若者に対する新たな雇用機会の開拓及び家事労働の正規化に重点が置かれた。

● 8月中旬、3か月にわたる中国国際報道交流センター2026プログラムを修了したジブチ人記者が中国からジブチに帰国した。

● 8月24日、ジブチ州知事は、首都の主要幹線道路を解放するため、路上に違法に設置された移動式ガレージ、屋台、タイヤ修理業者、果物・野菜の販売者及び行商人等に対し自発的な立ち退きを求めた。15日間の猶予の後、9月7日以降、事前通告もしくは補償なしに、立ち退きを命じられる可能性がある。

【軍事・治安】

● 8月5日、ザッカリア統合参謀総長は、軍のハイレベルの代表団を率いてソマリアのモガディシュを訪問し、ハッサン・シェイク・モハムッド・ソマリア大統領と会談を行い、安全保障面における協力の強化、現地における作戦調整及びソマリアの平和と安定を定着させるための取組の加速に焦点を当てた議論を行った。

● 8月8日、ジブチ海軍によるジブチ領海内における定例パトロール中、密輸活動が疑われるイエメン船籍の高速艇との間で火器を使用した衝突が発生し、ジブチ軍人2名が負傷した。

● 8月10日～14日、オマール内務大臣兼国防大臣代行は、軍のハイレベル代表団を率いて、ウガンダのカンパラで開催された東アフリカ待機軍（EASF）政治機関第36回定例会合に参加し、アフリカ大陸の安定を脅かす危機に対応するために、より強固で、十分な資金を備え、万全の準備が整った地域組織を整備するというビジョンを提唱した。

● 8月19日及び21日、駐ジブチ中国保障基地は、ジブチ商業・観光省の協力の下、ドラレ港において、ジブチ特産品を販売・紹介する見本市を開催し、アリ商業・観光省次官も訪問した。

● 8月下旬、ディキル税関及びディキル混成連隊は、ディキル市郊外のタワオ（Tawao）において、約960kgのカート（興奮作用のある嗜好品）の密輸を摘発した。

【日本関係】

● 8月12日、第60次派遣海賊対処行動航空隊の派遣に伴い、P-3CからP-1へ機種が変更された

● 8月27日、JICA長期研修員帰国報告会が、シェラトンホテルにおいて開催された（井上JICA所長、大河内大使他出席）。

（了）